



## EBPM人材の育成に向けた視点

株式会社マネーフォワード  
グループ執行役員CoPA 瀧 俊雄

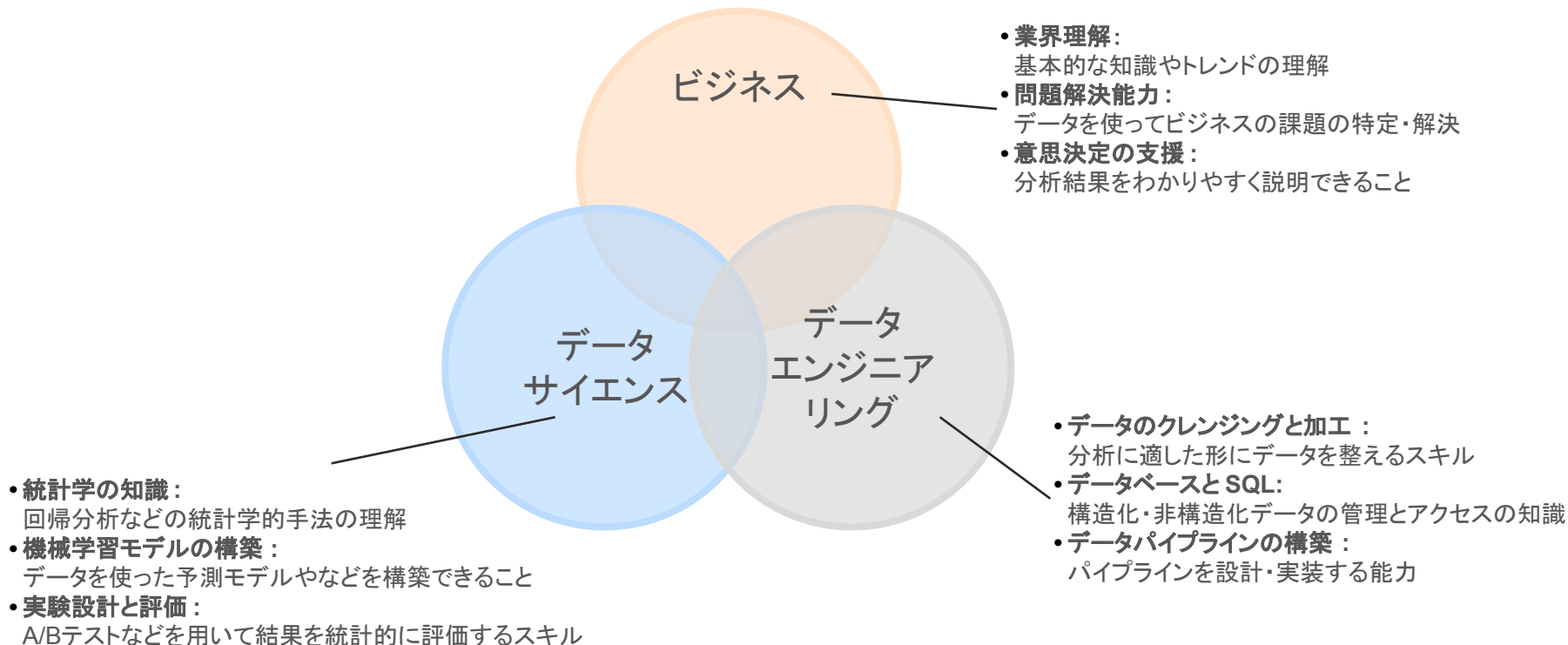
2024年11月14日

## 公開レビューを一度経験した立場からの意見

- 全体として、PDCAがポジティブな体験であることが重要
- 多くの政策には目的があるが、後から目標を与えないで済むように、過渡期は皆で努力が必要。  
企画段階から意識でき、途中で梯子外しにならず、次に繋げたくなる目標となっているか
- 探索的な事業では、事業の失敗自体も重要な情報であり、成果。PDCAにCancelが含まれる。  
失敗につながる情報の取得・中止判断を称える／褒めるルートが人事上は欠落しているのでは
- KPI設定にあたっては、政策固有の目標、手続きにかかる国民の工数負担、手続きを処理する公務員側の工数負担、事後的な確認・監査の負担軽減、といった要素を重視したい
  - 民間ソフトでは効果測定もサポートすることがあり、公共事業なりの代替措置は必要
- 民間でもアドテクノロジー業界は、高速 PDCAの世界。ここでの発想からの学びが多い
- 公務員⇒データサイエンティストの作り方:文系学卒⇒ 1~2年の独学で統計検定準1級、udemyの動画、kaggleを利用し、pythonの基本操作を学習。加えて大学院の1年間のプログラムに参加し、実データの分析を実施。EBPMガイドブック等を活用して、評価の知見を獲得

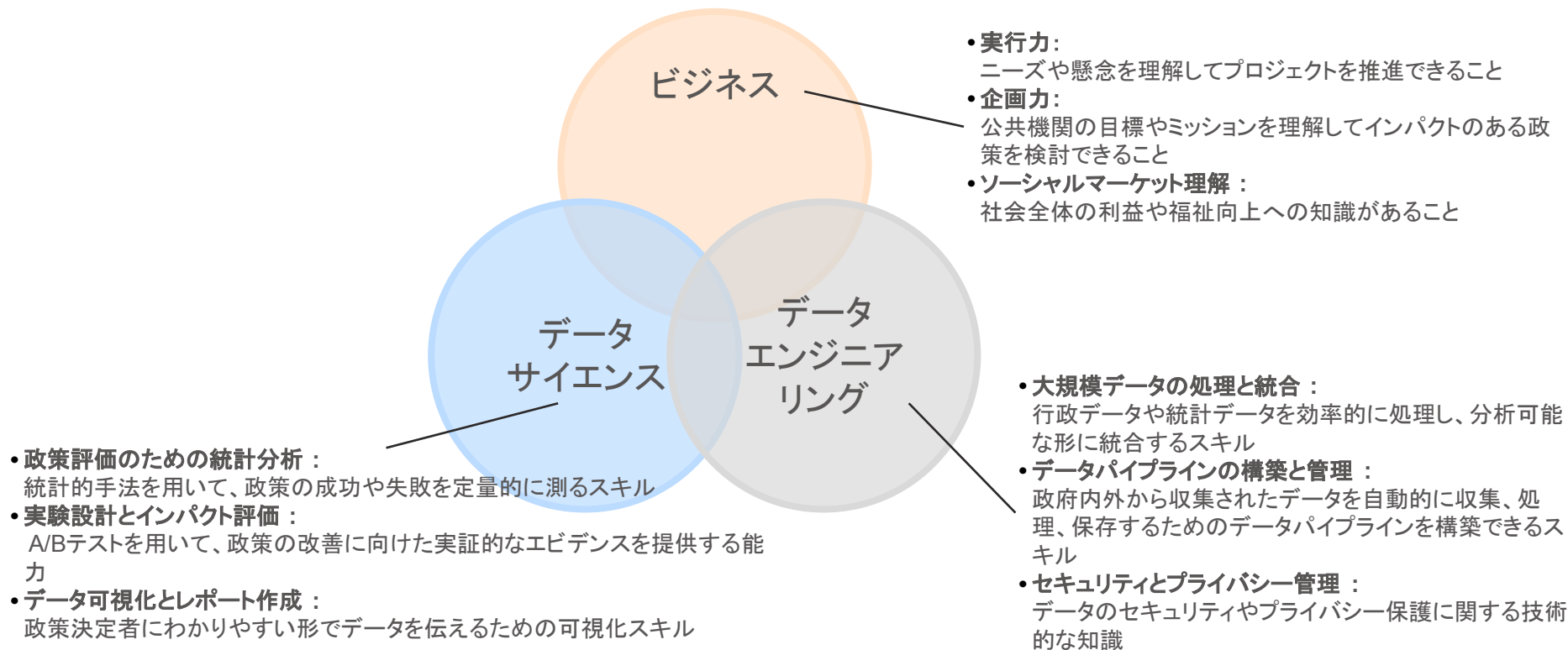
# ビジネスにおけるデータサイエンティストに求められるスキル

ビジネスの現場でデータサイエンティストに求められるスキルには「ビジネス・データサイエンス・データエンジニアリング」の3点があります。



# EBPMにおけるデータサイエンティストが求められるスキル(完成形)

EBPM実施に際してもデータサイエンティストとしてのケイパビリティが必要であり、以下のようなスキルが必要だと考えます。



## 全員がEBPM当事者となる世界に向けて

- 全員がエンジニア／サイエンティストである必要はない
- 個々のタレントではなく、チームとして能力を確保していくことが大事。  
セントラルキッチン型で対応体制を整えることも一案
- ミニマムスペックの定義として
  - データ・標本のバイアスを理解できること
    - 都合よく社会のことを考えず、データで理解する
    - データで理解した社会に対して、政策を修正する
  - データの取扱いに関する常識(リスク管理・セキュリティ理解)があること
- PMの部分を共通の経験としてシェアし、チェック・プロセスではなく基本動作としていくこと